

地域の ほっ♡と話

「参加者みんながボランティア」 東部地区・仲よし会

参加者の皆さんが毎週金曜日に東部市民館分館の和室に集まり、作品作りやおしゃべりを楽しんでいます。歴史あるグループで、今年の8月には活動開始から丸16年を迎えました。「家にはここで作った作品がいっぱい。毎年恒例で作っている干支の作品も一回りした」と会員歴13年の方が話してくださいました。



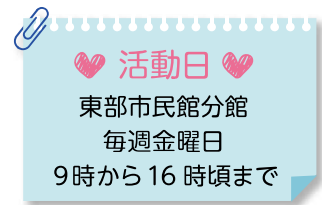
取材日に作成していた吊るし飾りです。9つのさるぼろ人形に「苦(9)が去る」との願いが込められています。



手作りの可愛い招き猫を抱えた参加者の皆さん

歴史が長いぶん、参加されている方の年齢や得意なことはさまざま。制作中には、隣同士でお手伝いする場面もありました。「参加者みんながボランティア」という代表の高橋さんの思いのもと、誰でも参加でき、心がほっと温くなる雰囲気の間所です。

手芸の他に、映画会や講演会などのイベントもあります。参加や見学を希望される方は、田原市社会福祉協議会 (☎23-0610) へご連絡ください。



♡ 活動日 ♡

東部市民館分館

毎週金曜日

9時から16時頃まで

令和2年度防災ボランティアコーディネーター 養成講座を開催しました

甚大な被害を及ぼす災害が田原市を襲った時、全国から駆けつけるボランティアの受入れや活動先の調整などを担う「防災ボランティアコーディネーター」の存在が不可欠です。

7月12日(日)、19日(日)の2日間にわたり、田原福祉センターにて、防災ボランティアコーディネーター養成講座を開催しました。

1日目は最初に参加者20名の皆さんが田原市防災対策課から田原市の防災対策について概要の説明を受けました。その後、市内の防災ボランティア団体のVOC S田原から、災害時のボランティア活動に関する心構えや注意事項などを学びました。2日目は災害ボランティアコーディネーター運営に必要な書類作成について学び、実際に災害が起きた時に『災害ボランティアセンター』を立ち上げる演習を行いました。

2日間全項目講座修了者として、18名の皆さんに修了証が手渡されました。

防災ボランティアコーディネーターに求められるのは、発災時のみではなく、平常時から『災害に強いまち』をつくること。その意欲を持ち続けていただくために、田原市総合防災訓練や令和3年開催予定のフォローアップ講座への参加も呼び掛けて、養成講座は終了しました。



災害ボランティアセンター運営の基本説明



災害ボランティアセンター立ち上げ演習